

【天皇皇后両陛下 “モンゴル国” 訪問】

今年には戦後 80 年という大きな節目の年です。天皇皇后両陛下が、7 月 6 日東京を御出発され、同月 13 日御帰国されました。今回のご訪問先は、『**モンゴル国**』。戦争が終結してなお、祖国に帰れぬまま没してしまっただ日本人の御霊に、哀悼の意を表する両陛下にとって、「心ならずも故郷から遠く離れた地で亡くなられた方々を慰霊し、ご苦勞に思いを致したいと思ひます」と語られたそうです。第二次世界大戦後、旧ソ連によって多くの日本人が抑留され、モンゴルには約 1 万 4 千人が移送されて、1,700 人以上が命を落としたといわれています。首都ウランバートル郊外には、日本人抑留者の慰霊碑が建てられており、両陛下がこの慰霊碑で供花されました。一方、両陛下が国際親善のためモンゴルを公式訪問されていることについて現地のメディアは、「民主主義の価値観を共有するモンゴルと日本の関係を強化するもので歴史的な意義を持つ」などと好意的に伝えています。



モンゴル訪問の中で、天皇陛下は、帰国された時に、近くで希少な馬などを見てモンゴルの自然の豊かさと美しさを強く感じ目の当たりにしたとした上で、「この 1 週間を振り返ってみますと、モンゴルの豊かな歴史、文化、そして素晴らしい自然に触れることができた 1 週間だったのではないかと思います」と話されました。さらに、行く先々で受けた温かいもてなしと歓迎への感謝の言葉を述べられ、晩さん会でモンゴルの演奏家たちとともにビオラを演奏したことは非常にすばらしい思い出となったと語られました。

私にとって音楽は、日常生活において欠かすことができない大きな存在です。ふる里の生活も皆さんの健康チェックの後『ふる里の歌』で始まり、体操やレクリエーション、昼食時間、午後の時間のカラオケ、おやつ後のリトミックをして『ふる里の歌』で締めくくられます。天皇陛下がモンゴル訪問時の演奏会の後の言葉には感動しました。“音楽というものは、人に力を与えるものであると思いますけれども、同時に人と人とを結ぶものでもあるのではないかと思います。”と話されました。今回の馬頭琴（ばとうきん）交響楽団との共演が日本とモンゴルの友好親善のさらなる発展につながるようであれば、それは大変うれしく思います。とも…。音楽は、楽しむものだからこそ、人と接し、コミュニケーションの力になり、喜びや感動をもたらすものだと思います。レクリエーションを中心にした生活づくりのふる里、毎日の瞬間瞬間が皆様の喜びでありますよう、日々研鑽してまいります。最後に、両陛下は「慰霊の旅」として、国内では、硫黄島、沖縄県、広島県を訪れ、9 月には長崎県を訪問される予定となっている。戦後 80 年という節目の今年、海外における戦没者への追悼も含めて、改めて「平和とは何か」を問い直す旅となる。そんな意義深いご訪問になられることでしょう。

センター長 森 隆敏



7月行事 そうめん流し



7月行事は、毎年恒例の『そうめん流し』を16日(火)、17日(水)、18日(木)の三日間行いました。午前中のレクリエーションは、夏らしさをテーマに考えました。

1日目と2日目は「かもめが飛んだ！すずめも飛んだ！」というゲームです。紙コップで作った可愛い“すずめ”と“かもめ”のマスコットがテーブルに並べられており、

2人で協力して同時にうちわで仰ぎ、相手チームの陣地に自分のチームのマスコットを追い出し点数を競います。仰いでもなかなか先に進まず、縦・横と苦戦しながら一生懸命うちわを仰ぎ、白熱した戦いが繰り広げられました。3日目は、「さかなは飛んでった！」というゲームで、たくさんの金魚が乗った大きな網を二人で持ち、職員手作りの漁船にたくさん魚を投げ入れます。金魚だけではなく、中にはイカやタコなども入っており、本当の海にいるような感じを味わってもらいました。網を持って投げる二人の息が合わず、船まで届かずにこぼれてしまったりと笑える一幕もあり、それもまた見ていて楽しむことができました。



レクリエーションが終わると、『そうめん流し』の始まりです！中庭を囲い、全長約32mのレールを流れてくるそうめんを、フォークですくい箸に持ち替えて召し上がられました。職員が3ヶ所から一斉にそうめんを流し、逃さないようにと必死ですくって食べられていました。中庭で男性職員とお手伝いの方たちが焼いて下さった炒飯と焼き鳥も絶品でした。ボリュームたっぷりの豪華な昼食で、これからの本格的な暑い夏に向けて、おなかいっぱい食べてスタミナをつけていただけたと思います。 From：坂上希代美 坂井洋子





中庭の様子・担当職員衣装



15日(火) 鶏肉とコーンのガーリック炒飯

16日(水) ごま油豚バラレタス炒飯

17日(火) ツナカレー炒飯

スタミナ満点メニュー

マスカット
アイス

カラエラテ
アイス

白桃
アイス

訪問ボランティア



7月は、2組の訪問ボランティアが見えられました。12日(土)は、**虹の会様**に演舞を披露していただきました。「皆の衆」や「いきいき音頭」、「女酔い流し」など5曲を華麗に踊られました。途中休憩では、職員が衣装替えをして登場し、最後は“諫早のんのこ節”で盛り上がりしました。24日(木)は、**早崎様**による尺八演奏でした。プロジェクターで歌詞を映し出し、「月の砂漠」「白虎隊」など、昔懐かしい皆様も聞き馴染みのある曲をしつとりと演奏され、めったに聞くことのない尺八の音色がとても心地よく感じられました。

高齢者自立支援センター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行いケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



8月の行事予定

今月の作品

◆ふる里8月行事 『ナツ☆なつ☆夏』

19日(火)・20日(水)・21日(木)



◆生花教室 ～齊藤マサミ先生～ 5日(火)・22日(金)

◆書道教室 ～中村 朱実 先生～ 11日(月)・28日(木)

◆おはなしの部屋 27日(水)

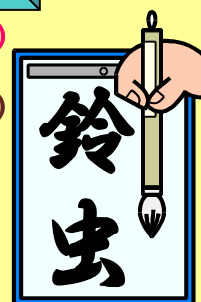
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。



◆押し花教室 ～中村壽美子先生～ 19日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後(6・13・20・27) 予定です。

★ふる里のお盆休みは、**14日(木)・15日(金)・16日(土)の3日間**です。



書道教室



押し花教室



生け花教室



☆皆様へお知らせ☆

この度、ふる里では「**Instagram**」を開設することになりました。ふる里での営みは、ふくろうだよりやインターネットなどでご家族へ情報発信しておりますが、この令和の時代だからこそ！という新たな挑戦でもあります。最新の発信形態に「インスタ？」「それってどうやって見れるの？」とアナログ世代の職員もおりますが(笑)、「ふる里での取り組みをもっと世に広めたい！」という思いから、「インスタを始めてどんどんアピールしていこう☆」と若い職員が提案してくれました。一日一投稿を目指し、ちょっとした何気ないことから、ふる里全体でのイベントや行事などを皆様へ発信し、ほっこりした気持ちになっていただけると嬉しいです。

です。インスタとは何ぞや…？という方は、お気軽に職員へお尋ね下さい。ぜひ皆様フォローをお待ちしております(^-^)/ 編集後記：入道 雲代

